

2017年3月期 第1四半期 決算補足資料



2016年7月29日（金）

1. 連結損益計算書

BELLUNA

売上高と営業利益は順調に推移。

一方で、経常損益と四半期純損益は円高による為替関係損益が大幅なマイナスとなった為に損失を計上。

単位：億円

連結	16/3期 1Q	17/3期 1Q		17/3期
	実績	実績	前年比	予算
売上高	340.4	371.9	9.2%	1,400.0
売上原価	145.6	161.8	11.1%	616.0
販売管理費	176.3	186.0	5.5%	674.0
営業利益	18.5	24.1	30.6%	110.0
営業外損益	5.2	-37.9	-	0.0
(内、為替関係損益)	(4.2)	(-41.0)	-	-
経常損益	23.7	-13.8	-	110.0
四半期純損益	15.7	-10.8	-	70.0

2. セグメント別損益

BELLUNA

売上高 ～プロパティ事業を除きすべて増収。

営業利益 ～店舗販売事業とその他事業を除きすべて増益。

- ・特に総合通販事業とソリューション事業が引き続き好調
- ・店舗販売事業は新たに取得した(株)マイムの季節要因もあって減益

セグメント別売上高と営業利益

単位：億円

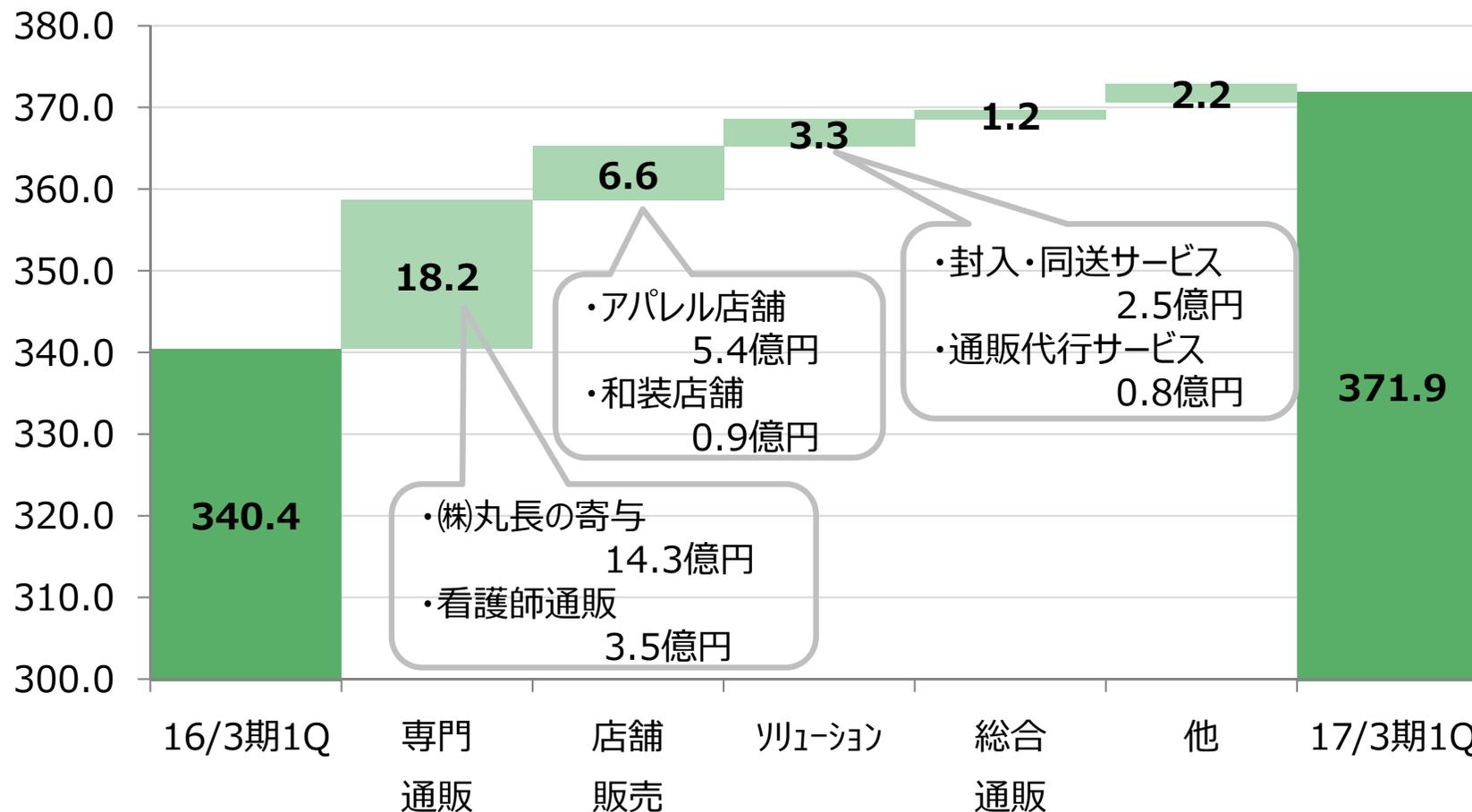
	17/3期 1Q								
	総合 通販	専門 通販	店舗 販売	ソリューション	ファイナンス	プロパティ	その他	連結 消去	計
売上高	204.4	98.4	30.8	14.8	7.5	7.5	10.8	-2.3	371.9
前年比 (%)	+0.6%	+22.6%	+27.3%	+29.2%	+7.9%	-0.2%	+24.6%	+27.6%	+9.2%
営業利益	13.5	2.9	-1.0	7.4	2.0	0.5	-0.3	-0.9	24.1
前年比(億円)	2.7	1.1	-1.3	3.1	0.4	0.2	-0.4	-0.1	5.7
営業利益率	6.6%	3.0%	-3.3%	49.8%	26.2%	6.4%	-2.6%	—	6.5%

3. 売上の増減分析

専門通販事業や店舗販売事業に加え、ソリューション事業も増収を牽引。総合通販事業は微増にとどまったが、6月の受注は前年比8.1%増。

売上高の増減要因

単位：億円



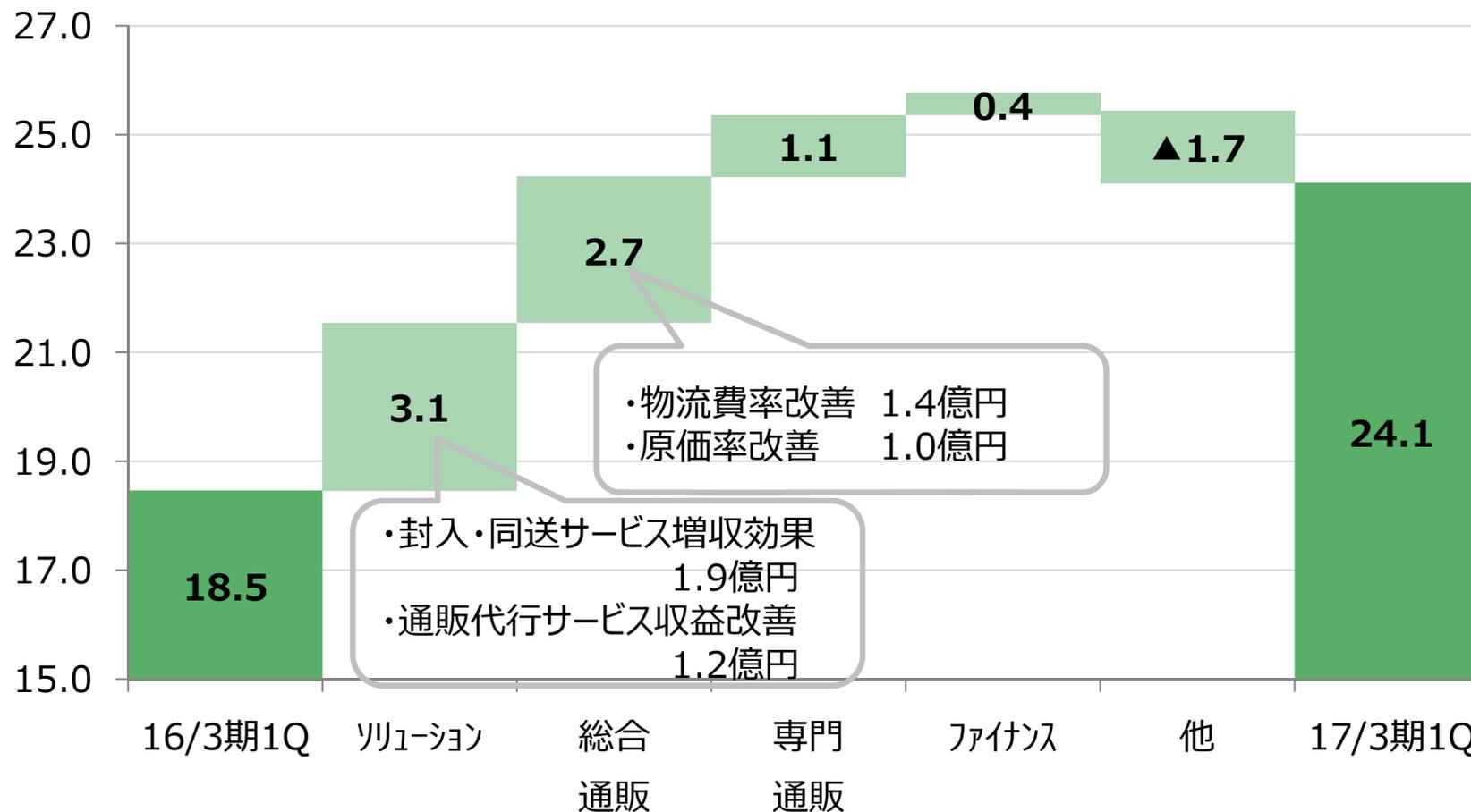
4. 営業利益の増減分析

BELLUNA

封入・同送サービスの増収効果と通販代行サービスの収益改善により、ソリューション事業が、また物流費率や原価率の改善により総合通販事業が前期に引き続き好調。

営業利益の増減要因

単位：億円



5. 連結貸借対照表

BELLUNA

資産では、商品及び製品と（仕掛）販売用不動産などが増加。これに対し負債では支払手形及び買掛金と有利子負債が増加。

	16/3末	17/6末	増減額	単位：億円
流動資産	741.9	803.6	61.7	
商品及び製品	156.1	173.2	17.1	
(仕掛)販売用不動産	41.7	89.7	48.0	
固定資産	868.7	876.0	7.4	
有形固定資産	594.6	594.3	-0.3	
投資その他の資産	190.7	199.5	8.8	
総資産	1,610.6	1,679.6	69.0	
負債	804.1	901.1	97.0	
支払手形及び買掛金	156.3	200.3	44.0	
有利子負債	464.7	490.4	25.7	
純資産	806.5	778.5	-28.0	
利益剰余金	684.5	667.6	-16.9	
【自己資本比率】	[49.8%]	[46.0%]	[-3.8P]	

<本資料に関する注意事項>

本資料は、2017年3月期第1四半期決算業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2016年7月29日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

<IRに関するお問い合わせ先>

株式会社ベルーナ 経営企画室 IR担当

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4-2

TEL : 048-771-7753

FAX : 048-775-6063

E-mail : ir-belluna@belluna.co.jp